

公開版

令和8年6月
第1回有田町議会定例会
所信表明

令和8年6月2日

令和8年6月第1回有田町議会定例会の開会にあたり、町政運営に関する私の所信の一端を申し述べます。

まず、4月の町長選挙において、町民の皆さまから大きなご信任を賜り、町政を担わせていただくこととなりました。これほど重い責任を担わせていただくことに、深く身の引き締まる思いであると同時に、その重さを改めて痛感しています。

皆さまの負託に応えるため、誠心誠意、全力で町政運営に取り組んでまいります。議員の皆様も引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は長年にわたり、有田町職員として、住民福祉、地域振興、教育、産業、財政、そして日々の行政運営に携わってまいりました。

窓口で寄せられる不安の声、地域で交わされる率直な意見、現場で奮闘する職員の姿、そして町を支える皆様の営みを間近で見てきた経験は、私にとって何よりの財産です。

これからは、その積み重ねを町長としての責任のもとに生か

し、町民の皆様にとって最も身近で、最も信頼される町政を目指してまいります。

有田町は400年を超えるやきものの歴史を刻み、日本磁器発祥の地として国内外に広く知られています。有田焼というかけがえのない誇り、伝統的建造物群保存地区の歴史的町並み、竜門峡や岳の棚田などの豊かな自然、地域に根差した暮らしと人のつながりが、この町の魅力を形づくってきました。

有田陶器市には全国から多くの方が訪れ、器を通じて有田の文化に触れていただいております。

一方で、少子高齢化と人口減少、産業の担い手不足、物価高騰、公共施設やインフラの老朽化、防災力の強化、地域交通や買い物環境の確保、教育環境の整備など、町を取り巻く課題は年々複雑化しています。

だからこそ、伝統ある町として、守るべきものは守り、見直すべきものは見直し、未来につなげていく姿勢が求められます。

私が掲げる町政の基本理念は、「世代を超えて、未来に誇れるまちへ」であります。

その実現には、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせること、若い世代が希望を持てること、産業が持続し働く場が確保されること、そして行政が時代に応じて進化することが不可欠です。

さらに、これからのまちづくりでは、定住人口だけでなく、多様な形で町と関わる人々を増やす視点が重要です。移住定住施策に加え、二地域居住、継続的な来訪、ふるさと納税、地域活動や産業への参画などを通じて、有田に関わり続けてくださる「関係人口」を広げることが、将来の担い手づくりにつながると考えております。

私は町政運営にあたり、「誠実に、謙虚に、そして確実に」を基本姿勢としてまいります。町民の声を真摯に受け止め、現場を重視し、課題から目をそらさず、一つ一つ着実に取り組んでまいります。

それでは、今後重点的に取り組む施策について申し述べます。

第一に、安心・安全で暮らしやすいまちづくりです。

町政の原点は、町民の皆様の暮らしを守ることにあります。道路の危険箇所、水道の老朽化、災害時の不安、買い物の不便さなど、日々の生活にある不安を丁寧に解消してまいります。

まず、生活道路については、通学路や生活道路の危険箇所を把握し、地域の声を伺いながら、必要な対策を確実に講じてまいります。

次に、水道インフラについては、老朽化が進む水道管や施設の計画的更新を進め、将来にわたり安定した給水体制を維持していきます。

また、防災対策では、体育センターなど避難所への空調設備整備や備蓄品の充実を図り、避難環境を改善します。

高齢者や障害のある方、乳幼児を抱える家庭など、要配慮者への支援を重視し、実効性のある防災体制を構築してまいります。

さらに、地域防災力を支える消防団への支援を強化し、団員確保、活動環境の改善、装備品の充実を進めていきます。

加えて、高齢化の進行に伴い、買い物弱者対策も重要です。

移動販売や買い物支援を地域・事業者・関係機関と連携して進めるとともに、生きがい活動の支援や見守り体制の充実を図り、地域で支え合う仕組みを強めます。

安心して暮らせる環境を整えることは、住み続けたい町づくりであり、移住や二地域居住を検討する方にとっても重要な基盤となります。暮らしの不安を一つずつ解消し、毎日の安心を未来へつないでまいります。

第二に、子育て・教育環境の充実です。

人口減少が進む中、子どもを産み育てやすい環境づくりは町の将来に直結する最重要課題です。「有田で子育てしたい」「有田で学ばせたい」と思っていただけ町を目指します。

まず、子育て世帯の負担軽減として、小学校給食費の無償化に続き、中学校給食費の無償化も早期に実施したいと考えています。子ども食堂への支援、有田っ子出産・子育て応援ニコッと給付金の継続など、子どもの成長を支える施策を進めてまいります。

次に、幼児教育・保育の充実として、保育士確保支援、職場環境改善に取り組むとともにICT導入を進め、記録や事務の効率化を図り、子どもと向き合う時間を確保します。

また、学校教育では、ICT活用や外部人材の活用により、一人一人に応じた学びを充実させます。基礎学力に加え、地域の歴史と文化への誇り、自ら考え未来を切り開く力を育む教育を推進します。

さらに、スポーツ・文化・芸術に触れる機会を広げ、多様な体験を通じて子どもたちの成長を後押しします。

加えて、奨学金支援制度についても、返済支援を含めた検討を進め、若者が夢を持って学び、将来有田に戻り、あるいは関わり続けられる環境を整えます。

そして、学校再編、特に統合中学校建設は町の将来に関わる極めて重要な課題です。拙速に進めるのではなく、一旦立ち止まり、再考したうえで進めていく必要があると考えています。

少子化が進む中で教育環境の最適化は避けて通れません。これまでの議論や経過を踏まえつつ、保護者・地域・学校関係者・議会の声を丁寧に伺いながら、子どもたちにとって最善の方向

を慎重に見極めます。

未来を担う子どもたちの成長を支え、親が安心して子育てできる町づくりに全力で取り組んでまいります。

第三に、農業・窯業の振興と働く場の確保です。

有田町の魅力は、歴史や文化だけでなく、地域で働き、ものをつくり、商いを続ける人々の営みにあります。産業が元気であってこそ、地域も活力を取り戻します。

まず、農業では、結いの里事業や中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金制度をはじめとする各種支援制度を活用し、農地保全と営農継続を支援します。

また、新規就農者や後継者の育成支援、スマート農業導入支援を進め、省力化と生産性向上を後押しします。地域の生産基盤の維持や農地活用を図り、意欲ある担い手が将来に希望を持てる環境を整えていきます。

次に、窯業では、未来へつなぐ有田焼支援事業を継続しつつ、

後継者育成支援を強化し、型・生地の共同生産拠点整備など、関係機関と連携しながら産地全体を支える基盤づくりを進めます。

国内市場の縮小を見据え、海外販路開拓や都市圏での情報発信を強化し、有田焼ブランドのさらなる価値向上を図ります。

また、働く場の確保として、企業誘致に向けた産業用地整備や受け皿づくりを進め、立地環境を整えます。既存事業者への支援を強化し、事業拡大や雇用創出につなげます。

さらに、関係人口の拡大にも力を入れてまいります。陶器市やイベントをきっかけに有田とつながる方、やきものや町並みに魅力を感じて訪れる方、二地域居住者、地域づくりや創業に関心を持つ方など、多様な関わりを大切にします。

空き家活用、仕事づくり、暮らしの情報発信、体験機会の創出を通じ、移住につながる入口を広げます。

加えて、観光振興では、「歴まち再生ファンド事業」による歴史的資源を生かした観光拠点整備、ACEプログラムによる文化体験型観光の推進など、複合的な取り組みにより、高付加価値な観光を実現し、地域全体の活性化につなげます。

地域産業を守り育て、若者が働き続けられる未来をつくること。そして、有田に関わる人の輪を広げること。この両輪で、有田の活力を未来へつないでまいります。

第四に、行政改革と財政健全化です。

人口減少が進む中、限られた人員と財源で質の高い行政サービスを提供するためには、従来の仕組みを見直し、効率的で分かりやすい行政へと進化させる必要があります。

そのためには、組織体制の見直しと連携強化を図り、町民にとって分かりやすく相談しやすい役場づくりを進めて住民サービスの向上につなげてまいります。

次に、デジタル化の推進として、窓口での申請や内部事務の見直しを進め、A Iを含む新技術を適切に活用し、業務効率化とサービス向上を図ります。技術ありきではなく、行政運営を支える道具として慎重かつ効果的に活用します。

また、公共施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化、適正配置、統廃合の検討を進め、将来の財政負担を見据えた管理を行います。

さらに、財源確保として、ふるさと納税の拡大を図り、有田焼をはじめとする魅力を丁寧に発信し、寄附拡大とファンづくり、関係人口の拡大につなげます。

加えて、空き家対策と移住定住支援を充実させ、空き家流通支援、移住者サポート、二地域居住の受け皿づくり、外部人材との連携を進め、定住人口・交流人口・関係人口を有機的につなげる町政を展開します。

そして、第二次総合計画の後期計画の進捗と社会情勢を踏まえ、令和9年度までに第三次総合計画を策定します。人口減少対策、産業振興、子育て・教育、防災、地域福祉、観光振興に加え、移住定住、二地域居住、関係人口の拡大、デジタル技術の活用を位置付け、有田らしい次代のまちづくりを描きます。

無駄を省き、必要なところに重点的に投資する。その基本原則を徹底し、持続可能な町政運営に努めてまいります。

結びに

有田町は、先人たちが長い年月をかけて築き上げてきた町で

す。歴史や文化、そして豊かな自然は、私たちが誇るべき財産であります。そして、その誇りを支えてきたのは、いつの時代も、この町で暮らし、働き、地域を守ってこられた町民の皆様です。

また、窯業や農業、商工業、ものづくりなど、多様な産業の営みが今日の有田を形づくってきました。私は、その積み重ねを真摯に受け止め、地域それぞれの強みを生かしながら、町全体の発展につなげてまいります。

さらに、伝統は守るだけでは続きません。暮らしの中で生かし、産業として育て、教育で伝え、交流の中で広げてこそ、未来へ受け継がれていきます。

そして、「住み続けたい」、「帰りたい」、「訪れたい」、「関わり続けたい」と思える町としての価値を高め、世代を超えて誇れる有田を築いてまいります。

その実現に向け、私は「誠実に、謙虚に、そして確実に」、町政運営に全力で取り組んでまいります。

議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。所信表明といたします。